

地球電磁気・地球惑星圏学会

SOCIETY OF GEOMAGNETISM AND EARTH,
PLANETARY AND SPACE SCIENCES (SGEPSS)

第 119 号 会 報 1988年 2月10日

目 次

I	第 83 回総会ならびに講演会開催のお知らせ	1
II	第 83 回総会ならびに講演会の会場案内	3
III	総会・講演会参加費の徴収について	3
IV	日本学術会議会員候補者・会員推薦人の投票結果	4
V	会長コラム	4
VI	新入会員等	5
VII	講演会広報活動について	5
VIII	田中館賞基金醸金	5
IX	講演会、学術研究集会	6
X	奨励金公募案内	6
XI	日本学術会議だより	6
XII	会員名簿の訂正	7
XIII	宇宙科学研究所移転のお知らせ	7
XIV	その他	7

I 第 83 回総会並びに講演会開催のお知らせ

第 83 回総会並びに講演会は郵政省電波研究所（4月1日より名称が通信総合研究所に変更されます。）のお世話により下記の通り開催されます。

1. 期間 昭和63年4月26日（火）～28日（木）
2. 会場 郵政省通信総合研究所（本所）

東京都小金井市貫井北町4-2-1

(連絡先 0423-21-1211 松浦延夫会員)

3. 講演申込および予稿原稿送り先

*地球内部関係は

〒606 京都市左京区追分町

京都大学理学部地質学鉱物学教室 鳥居雅之 宛

*地球外部関係は

〒442 豊川市穂の原3-13

名古屋大学空電研究所 田中義人 宛

(締切り 3月18日(金) 必着)

予稿原稿は、同封用紙に黒インクまたはボールペンで丁寧にお書き下さい。用紙が更に必要な場合は、学会事務センター宛に直接御請求下さい。

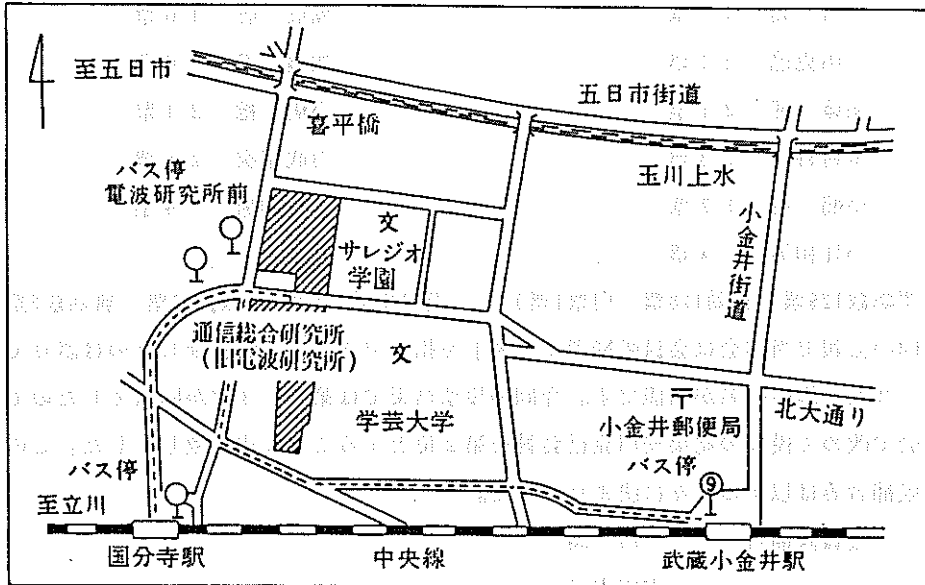
4. 本学会では、ポスターセッションを口頭発表のセッションと同等或はそれ以上の充実したものになりたいと考えています。奮ってポスターセッションにお申込下さい。
5. 今回も前回同様、特に分野を定めずに約50編の論文発表をポスターとする予定です。ポスター希望者は申込用紙の所定欄にその旨記入して下さい。ただし口頭発表を希望しておられてもポスターに廻る事がありますので、予め御了承下さい。口頭発表の場合はプログラム編成上関連セッションが平行になる場合もありますが、ポスターの場合には平行セッションを行いませんのでお勧めできます。
6. ポスターボードには、前回と同様ベニヤ板を会場の壁に縦に立てかけたものを使う予定です。
7. 非会員のみによる講演申込は受けませんので御注意下さい。論文著者名の先頭(ファースト・オーサー)になれるのは1人1編限りです。ほぼ同じ内容の話をファースト・オーサーだけを取り替えて、複数の論文として申し込むことはおやめ下さい。
8. 講演時間は1講演当り15分(講演12分、質疑応答3分)以内とします。
9. 締切日を厳守して下さい。締切日以降に到着した申込は自動的に却下します。電話による申込や遅延依頼は受け付けません。
10. 田中館賞候補者推薦は、3月10日(木)までに会長宛必要書類(推薦書、被推薦者履歴書、業績リスト、関連論文別刷り等各11部)をお送り下さい。
11. 総会議題の申込は、3月31日(木)までに会長宛書面をお願いします。
12. 学会前日の4月25日(月)に同所でシンポジウム「隕石と太陽系の起源」が重点領域研究「太陽系の起源」総括班との共催、地球化学会後援で開催される。参加希望

者は世話人（杉浦直治、東大理）までご連絡下さい（IX項参照）。

II 第83回総会並びに講演会の会場案内

郵政省電波研究所（4月1日より通信総合研究所）の案内図と交通機関を下に示します。

案内図



交通機関

- 中央線 武蔵小金井駅北口下車－京王バス9（小平団地ゆき）
- 中央線 国分寺駅北口下車－立川バス

（いずれもバス停・電波研究所前（新バス停名称は現在未定）まで徒歩約15分）

III 総会・講演会参加費の徴収について

第82回総会で次期学会から参加費

正会員 料金は1,000円（学生 500円）
非会員、一般 2,000円（学生 1,000円）
これを会場で徴収することが決定されました。これを受けて今総会より受付で参加費を徴収し、領収書（用紙をプログラム発送時に同封します）に押印すると共に名札ケースと名札カードをお渡し致します。名札カードの所定箇所に名前と所属を各自ご記入の上、会期中必ず

胸におつけください。尚、名札ケースは回収して次回以降も繰り返し使用致しますので、会終了後に受付に御返却下さい。

IV 日本学術会議会員候補者・会員推薦人の投票結果

先般行われた投票の結果は次の通りです。

会員候補者	会員推薦人
小口 高 47票	福島 直 46票
安川克己 21票	加藤 進 26票
加藤 進 21票	小嶋 稔 24票
木村警根 18票	力武常次 21票
小嶋 稔 17票	小林和男 9票
小林和男 4票	

〔投票総数129票（有効128票 白票1票）〕〔投票総数129票（有効126票 無効票3票）〕

前回の会報で当学会は会員候補者「1名」を指名できるとお知らせしたのは誤りで正しくは「2名」迄の指名が可能です。今回の投票結果では第2、3位が同票でしたので運営委員会で改めて投票の結果安川克己会員を第2位とすることに決定致しました。この結果会員候補者等は以下の方々になりました。

会員候補者	小口 高
	安川克己
会員推薦人	福島 直
同予備者	加藤 進

V 会長コラム

今期の役員としては就任後丁度1年が経ち、任期の折り返し点を過ぎたところであります。学会名称変更に伴う会則の変更や学会編集委員の決め方の内規制定など盛沢山の仕事があつて運営委員の方々には随分ロードをおかけしたと思います。田中館賞基金についても多数の会員の方々の御賛同を得まして当分心配のない財政になりました。

尚、今後の問題として残っておりますのは学会連合の問題とAGUとの協力事業であります。前者は学会連合問題検討小委員会を作り、これまでは書面での御意見の聴取しておりますが近日小委員会を開催して具体的討議をお願いする予定です。また、AGUとの関係では昨年10月に来日した Spilhaus 氏は、1990年夏に日本でAGU meetingを開きたいと提案していましたが、AGUで最近正式にその企画の実行が決まった由であ

ります（どこで開催するかはまだ決っておりません）。また、本学会にも是非協力してほしいという依頼が来ております。

学会の財政については前回、総会・講演会参加費を頂くことが決まり少し楽になりましたが、今後学会としての新しい企画（例えば、若手研究者の国際会議派遣など）を行うためには学会の基金を積極的に増やす努力をしなければならないと思っております。どうか今迄同様本学会活動に会員の皆様のご支援を頂けますようお願い致します。

（木村馨根）

VI 新入会員等

第147回運営委員会で次の2名の方の入会が承認されました。

林田佐智子（環境庁国立公害研究所）

川口 洋（愛媛県立西条高等学校）

また、次の3名の方の退会が確認されました。

今 実、陶山淳治、渡辺修夫

この結果名誉会員6名、正会員578名（内学生53名）、外国会員49名、賛助会員11社となります。

VII 講演会広報活動について

学会運営委員会で、本学会講演会について積極的な広報活動を行うことが提案され、昭和62年秋季より試行されました。講演会会場には、新聞、テレビ等計8社9名が訪れ、毎日新聞（62.9.29版）、信濃毎日（62.9.27版）、松本市民タイムス（62.9.30版）に紹介されました。

VIII 田中館賞基金醸金について

先回以降（昭和62.12.20現在）下記の方から醸金を頂き、醸金総額607,000円となりました。この場をおかりして厚く御礼を申し上げます。尚、以降でも御賛同頂けます方は会報116号を御参照の上、学会事務センター宛お振込頂ければ幸いです。

河島信樹 丸橋克英 力武常次（*）（敬称略：アイウエオ順）

（*）同会員には御案内後すぐ醸金を頂き、第117号にお名前を記載すべき処欠落してしまいました。お詫び申し上げます。

IX. 講演会、学術研究集会等

下記の会合が開催されます。

1. シンポジウム「隕石と太陽系の起源」

開催日：昭和63年4月25日(月)

会場：郵政省通信総合研究所(本所)

連絡先：東京大学理学部地球物理学教室

杉浦直治 (Tel 03-812-2111 内線4307)

2. 国際研究集会 "International School on Atmospheric Radar (ISAR)"

開催日：昭和63年11月24日(木)～28日(月)

主催：京大超高層電波研究センター

後援：地球電磁気・地球惑星圏学会、日本気象学会、SCOSTEP、URSI

3. 国際シンポジウム "Fourth Workshop on Technical and

Scientific Aspects of MST Radar"

開催日：昭和63年11月29日(火)～12月2日(金)

主催：SCOSTEP、京大超高層

後援：URSI他

上記2、3いずれも

会場：烏丸京都ホテル

連絡先：京大超高層電波研究センター

加藤進 (Tel 0774-32-3111 内線3331)

X. 奨励金公募案内

第19回三菱財団自然科学研究助成

締切 昭和63年4月11日

申請手続きについては、深尾運営委員にお問い合わせ下さい。なお学会としての締切は3月20日と致します。

XI. 日本学術会議だより

日本学術会議では、学術の成果を広く国民生活に反映浸透させるという日本学術会議法の趣旨に沿うため、公開講演会を開催しています。「日本学術会議だより No.8」には、

昨年11月に開催された2つの公開講演会の講演内容を中心として以下のような当会議の国際的活動の概要などが掲載されています。

- ・公開講演会「ハイテクと人類の将来」
- ・公開講演会「情報化と国際化」
- ・二国間学術交流
- ・日本学術会議の国際的活動
- ・生命科学と生命工学特別委員会中間報告
--生命科学の研究と教育の推進方策について--
- ・登録学術研究団体等との連絡協議会

上記記事の詳細にご関心のある方は、当学会深尾運営委員までご連絡下さい。これらの件に関する御意見・お問い合わせ等がありましたら直接下記へご連絡下さい。

〒106 東京都港区六本木7-22-34

日本学術会議広報委員会（日本学術会議事務局庶務課）

Tel 03-403-6291

XI 会員名簿訂正について

1987年12月発行の会員名簿57頁上から4行目藤原玄夫氏の後に「板部敏和」氏の名前が欠落していました。謹んでお詫び申し上げます。他に誤字脱字などがありましたら柳沢運営委員（宇宙科学研究所）にご連絡下さい。

XII 宇宙科学研究所移転のお知らせ

表記研究所が昭和63年4月1日より下記に移転致します。

住所 〒229 神奈川県相模原市由野台3丁目1-1

電話 0427-51-3911（代表）

なお、2月10日～3月31日が移転期間です。

XIII その他

最近各大学で審査をパスした博士学位論文の論文名、氏名、大学名を深尾運営委員までご連絡下さい。この会報で会員の皆様にお知らせしたいと思います。

学会役員の主な連絡先

会 長 〒 606 京都市左京区吉田本町
木 村 磐 根 京都大学工学部電気工学第二教室
Tel 075-751-2111 (内線) 5348
Tel & FAX 075-751-8201 直通

運営委員会 総務 〒 611 宇治市五ヶ庄
松 本 紘 京都大学超高層電波研究センター
Tel 0774-32-3111 (内線) 3332
Tel & FAX 0774-33-2532 直通

同 庶 務
深 尾 昌 一 郎 Tel 0774-32-3111 (内線) 3352
FAX 0774-31-8463 事務室

発行 地球電磁気・地球惑星圏学会
〒 113 東京都文京区弥生 2-4-16
学会センタービル
(財)日本学会事務センター内
電 話 (03) 817-5801
ファックス (03) 817-5800